

道路特定財源の暫定税率の期限切れ に伴う新年度予算の取扱いについて

- 1 豊岡市は、平成 20 年度予算に、道路特定財源として総額 771,121 千円を計上している（自動車取得税交付金 303,224 千円、地方道路譲与税 121,245 千円、自動車重量譲与税 346,652 千円）。
- 2 道路特定財源の暫定税率が確定的に失効し本則税率に移行した場合の影響額は、年間 347,468 千円と見込んでいる。
- 3 この暫定税率分の減収を道路予算の削減のみで吸収することは不可能であり、他分野の予算でも大幅な削減が必要となる。
- 4 ただし、今後の与野党協議や衆議院における再議決の可能性もあるところから、平成 20 年度予算の執行に関し、当面下記のとおり対応することとする。
- 5 なお、仮に暫定税率分が将来に向けて確定的に失われる場合は、平成 20 年度予算の大幅な減額補正が必要となるだけでなく、財政計画や公債費負担適正化計画等も見直しを迫られることになるため、その時点で改めて対応策を検討する。

記

[当面の対応]

国会の動向を見極めるため、当分の間（1ヶ月程度）、次の事業の実施を凍結することとし、入札執行等を行わない。

- 1 道路整備関係 11 事業 事業費 802,676 千円（一般財源 54,253 千円）
道路新設改良費（阿金谷轟線、太田虫生線、大開一日市線、新堂内川線、江本上友田線等 補助・市単独すべての事業） 橋りょう新設改良費（中山橋、浅倉橋） 街路事業費（駅前広場整備）
- 2 道路維持費（補修工事費） 1 事業 事業費 60,000 千円（一般財源 60,000 千円）

三坂納屋線、新堂内川線、小田井上陰線 舗装等

(経常的な枠配分額 63,000 千円に政策的に上乗せした部分)

3 その他新規事業を中心に凍結する。

96 事業 事業費 986,331 千円 (一般財源 235,135 千円)

消防ポンプ自動車更新、消防団分団整備、全国瞬時警報システム整備、韓国・アメリカ・モンゴル国際交流関係、城崎温泉ふるさとまつり助成、豊岡駅通商店街活性化事業費補助、教育旅行誘致促進、出石藩夏まつり補助、バイオマスタウン推進、環境対策育林、治山事業、太陽光発電システム補助、コウノトリ野生復帰、住宅耐震化計画策定、小中学校耐震化対策など計 96 事業

合計 108 事業 事業費 1,849,007 千円(一般財源 349,388 千円)

- (注) 1 仮に予算の減額補正が必要となる場合、具体的な対応については、経常費の削減や基金の活用等も含め、改めて検討する。
- 2 市では、道路特定財源だけでは道路予算をまかなえず、多額の一般財源も投入しているため、歳出予算の「財源内訳」欄では、道路特定財源の額も便宜上「一般財源」欄に含めて記載している。